



## 2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月3日

上場会社名 株式会社 紀陽銀行  
 コード番号 8370 URL <http://www.kiyobank.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 松岡 靖之  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員企画本部長 (氏名) 原口 裕之  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月10日 特定取引勘定設置の有無 無  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 073-426-7133

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	60,852	6.3	20,056	44.8	13,943	51.5
2019年3月期第3四半期	57,239	2.8	13,848	7.0	9,202	10.7

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 9,687百万円 ( %) 2019年3月期第3四半期 2,552百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	204.93	204.70
2019年3月期第3四半期	133.37	133.26

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	4,830,709	240,633	4.9
2019年3月期	4,585,341	233,968	5.0

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 237,946百万円 2019年3月期 231,373百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計 - 期末新株予約権 - 期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。  
 なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		35.00	35.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	75,300	1.3	18,300	0.8	11,700	0.7	172.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	70,300,000 株	2019年3月期	70,300,000 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	2,393,000 株	2019年3月期	1,933,203 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	68,038,504 株	2019年3月期3Q	69,002,407 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【添付資料】

[目次]

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6

※2020年3月期 第3四半期決算説明資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における連結経営成績につきましては、貸出金利息が増加したものの、有価証券利息配当金が減少したことなどにより、資金利益は減少しました。また、株式等関係損益は減少したものの、国債等債券損益は増加し、営業経費は減少しました。

以上などにより、経常収益は前年同期比36億13百万円増加の608億52百万円、経常費用は前年同期比25億95百万円減少の407億95百万円、経常利益は前年同期比62億8百万円増加の200億56百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比47億41百万円増加の139億43百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における連結財政状態につきましては、総資産が4兆8,307億円、純資産が2,406億円となりました。

貸出金につきましては、中小企業向け貸出が増加したことなどから、前連結会計年度末比1,020億円増加の3兆613億円となりました。

預金・譲渡性預金につきましては、個人預金や法人預金を中心に増加し、前連結会計年度末比589億円増加の4兆480億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益が、2019年5月13日に公表しました2020年3月期の業績予想を超過しておりますが、今後の経済・金融情勢等により有価証券関係損益や与信関連費用等が変動する可能性があるため、2020年3月期の業績予想は変更しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	568,124	637,083
買入金銭債権	799	800
商品有価証券	36	35
有価証券	967,308	1,030,318
貸出金	2,959,342	3,061,351
外国為替	2,798	4,713
その他資産	44,838	52,444
有形固定資産	34,471	35,469
無形固定資産	3,300	3,339
退職給付に係る資産	17,877	18,136
繰延税金資産	647	696
支払承諾見返	9,509	9,888
貸倒引当金	△23,713	△23,567
資産の部合計	4,585,341	4,830,709
<b>負債の部</b>		
預金	3,919,136	3,982,525
譲渡性預金	69,994	65,568
コールマネー及び売渡手形	—	80,000
債券貸借取引受入担保金	82,004	202,453
借入金	229,466	205,239
外国為替	194	142
その他負債	30,310	34,099
退職給付に係る負債	25	27
役員退職慰労引当金	30	30
睡眠預金払戻損失引当金	1,042	764
偶発損失引当金	436	458
繰延税金負債	9,221	8,878
支払承諾	9,509	9,888
負債の部合計	4,351,372	4,590,075
<b>純資産の部</b>		
資本金	80,096	80,096
資本剰余金	3,075	3,074
利益剰余金	119,264	130,794
自己株式	△3,434	△4,055
株主資本合計	199,001	209,910
その他有価証券評価差額金	26,830	22,996
繰延ヘッジ損益	△552	△130
退職給付に係る調整累計額	6,094	5,169
その他の包括利益累計額合計	32,371	28,035
新株予約権	106	121
非支配株主持分	2,487	2,565
純資産の部合計	233,968	240,633
負債及び純資産の部合計	4,585,341	4,830,709

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
経常収益	57,239	60,852
資金運用収益	35,209	33,912
(うち貸出金利息)	24,380	24,773
(うち有価証券利息配当金)	10,521	8,850
役務取引等収益	9,944	10,604
その他業務収益	5,550	12,232
その他経常収益	6,536	4,103
経常費用	43,390	40,795
資金調達費用	1,481	2,919
(うち預金利息)	634	503
役務取引等費用	3,409	3,590
その他業務費用	6,984	5,522
営業経費	27,073	26,105
その他経常費用	4,442	2,657
経常利益	13,848	20,056
特別利益	0	11
固定資産処分益	0	11
特別損失	163	137
固定資産処分損	87	46
減損損失	76	90
税金等調整前四半期純利益	13,686	19,930
法人税、住民税及び事業税	2,988	4,779
法人税等調整額	1,375	1,143
法人税等合計	4,364	5,923
四半期純利益	9,321	14,007
非支配株主に帰属する四半期純利益	119	64
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,202	13,943

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	9,321	14,007
その他の包括利益	△11,874	△4,319
その他有価証券評価差額金	△10,871	△3,817
繰延ヘッジ損益	△88	422
退職給付に係る調整額	△914	△924
四半期包括利益	△2,552	9,687
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,716	9,606
非支配株主に係る四半期包括利益	163	80

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。



# 2020年3月期 第3四半期 決算説明資料

## 【 目 次 】

1. 損益の状況(単体)	.....	P 1
2. 預金等、貸出金の残高(単体)	.....	P 2
3. 預かり資産残高、預かり資産関連販売額(単体)	.....	P 2
4. 自己資本比率(連結)(単体)	.....	P 2
5. 時価のある有価証券の評価差額(単体)	.....	P 3
6. 金融再生法開示債権(単体)	.....	P 3

- (注) 1. 記載金額、比率は単位未満を切り捨てて表示しております。  
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

# 株式会社 紀陽銀行

## 1. 損益の状況

(単位:百万円)

(単体)	2020年3月期 第3四半期 累計期間 (a)	比較 (a-b)	2019年3月期 第3四半期 累計期間 (b)	2020年3月期 通期 業績予想値
1 業務粗利益	41,607	5,737	35,870	
2 資金利益	31,001	△ 2,759	33,760	
3 うち貸出金利息	24,780	401	24,379	
4 うち有価証券利息配当金	8,851	△ 1,703	10,554	
5 うち投資信託解約損益	435	△ 2,740	3,175	
6 うち預金等利息(△)	508	△ 134	642	
7 役務取引等利益	4,726	407	4,319	
8 その他業務利益	5,879	8,088	△ 2,209	
9 うち国債等債券損益	5,636	7,543	△ 1,907	
10 経費(除く臨時処理分)(△)	25,576	△ 1,133	26,709	
11 実質業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	16,031	6,871	9,160	16,000
12 うちコア業務純益	10,394	△ 674	11,068	12,000
13 うちコア業務純益(除く投資信託解約損益)	9,958	2,066	7,892	
14 一般貸倒引当金繰入額①(△)	△ 159	△ 159	—	
15 業務純益	16,190	7,030	9,160	
16 臨時損益	3,177	△ 947	4,124	
17 不良債権処理額②(△)	1,260	△ 363	1,623	
18 (与信費用①+②)(△)	(1,101)	(△ 522)	(1,623)	
19 うち貸出金償却(△)	817	△ 667	1,484	
20 うち個別貸倒引当金繰入額(△)	270	270	—	
21 貸倒引当金戻入益	—	△ 100	100	
22 償却債権取立益	1,226	601	625	
23 株式等関係損益	1,532	△ 2,057	3,589	
24 その他臨時損益	1,679	247	1,432	
25 経常利益	19,368	6,083	13,285	17,300
26 特別損益	△ 127	47	△ 174	
27 税引前四半期純利益	19,241	6,131	13,110	
28 法人税等合計(△)	5,658	1,515	4,143	
29 法人税、住民税及び事業税(△)	4,470	1,792	2,678	
30 法人税等調整額(△)	1,188	△ 277	1,465	
31 四半期(当期)純利益	13,582	4,616	8,966	11,100
32 与信コスト総額(△)	△ 125	△ 1,022	897	

- (注) 1. コア業務純益とは、一般貸倒引当金繰入前、国債等債券損益(債券5勘定戻)控除後の業務純益です。  
2. 与信コスト総額は、与信費用に貸倒引当金戻入益・償却債権取立益などの与信関連損益を加味して算出しております。  
3. (△)は損失項目です。

## 2. 預金等、貸出金の残高

(単位:百万円)

	(単体)	2019年12月末		2019年3月末	2018年12月末
			2019年3月末比		
1	預金・譲渡性預金(期末残高)	4,067,159	59,421	51,012	4,007,738
2	うち預金	3,991,591	63,848	30,738	3,927,743
3	うち個人預金	2,906,663	58,490	30,127	2,848,173
4	貸出金(期末残高)	3,073,628	105,603	120,335	2,968,025
5	うち消費者ローン	980,133	27,378	36,681	952,755
6	うち住宅ローン	809,872	19,574	25,104	790,298
7	中小企業等貸出金(期末残高)	2,221,237	82,368	112,781	2,138,869

## 3. 預かり資産残高、預かり資産関連販売額

(単位:百万円)

	(単体)	2019年12月末		2019年3月末	2018年12月末
			2019年3月末比		
1	預かり資産残高(期末残高)	123,280	△ 6,723	△ 2,940	130,003
2	投資信託	118,654	△ 5,828	△ 976	124,482
3	国債等	4,626	△ 894	△ 1,964	5,520

(単位:百万円)

	(単体)	2019年12月期		2018年12月期
			2018年12月期比	
1	預かり資産関連販売額	59,049	△ 1,275	60,324
2	投資信託	30,501	1,388	29,113
3	証券仲介	10,497	233	10,264
4	個人年金保険等	18,050	△ 2,895	20,945

## 4. 自己資本比率(国内基準)

(単位:百万円)

	(連結)	2019年12月末		2019年9月末
			2019年9月末比	
1	自己資本比率(2÷5)	10.28%	△ 0.13%	10.41%
2	自己資本(3-4)	206,088	2,880	203,208
3	コア資本に係る基礎項目	221,053	2,987	218,066
4	コア資本に係る調整項目	14,965	108	14,857
5	リスク・アセット等	2,002,827	52,408	1,950,419
6	総所要自己資本額(5×4%)	80,113	2,097	78,016

(単位:百万円)

	(単体)	2019年12月末		2019年9月末
			2019年9月末比	
1	自己資本比率(2÷5)	9.81%	△ 0.12%	9.93%
2	自己資本(3-4)	193,401	2,549	190,852
3	コア資本に係る基礎項目	202,959	2,962	199,997
4	コア資本に係る調整項目	9,558	413	9,145
5	リスク・アセット等	1,970,205	49,827	1,920,378
6	総所要自己資本額(5×4%)	78,808	1,993	76,815

## 5. 時価のある有価証券の評価差額

(単位:百万円)

(単体)	2019年12月末				2019年3月末		
	評価差額	2019年3月末比	評価益	評価損	評価差額	評価益	評価損
1 満期保有目的	105	162	105	—	△ 57	28	86
2 その他有価証券	30,840	△ 5,294	34,704	3,864	36,134	39,937	3,803
3 株式	19,933	△ 2,690	20,076	142	22,623	23,145	521
4 債券	7,336	△ 2,929	7,595	258	10,265	10,332	67
5 その他	3,088	669	6,551	3,462	2,419	5,633	3,214
6 (注3)	481	△ 344	481	—	825	825	—
7 総合計	30,945	△ 5,131	34,810	3,864	36,076	39,965	3,889

(注) 1. 有価証券のほか、買入金銭債権中の信託受益権も含めております。

2. 時価のある子会社・関連会社株式はございません。

3. 変動利付国債の保有目的区分変更(「その他有価証券」から「満期保有目的」へ)により発生した評価差額を記載しております。

## 6. 金融再生法開示債権

(単位:百万円)

(単体)	2019年12月末	2019年3月末比		2019年3月末	2018年12月末
		2019年3月末比	2018年12月末比		
1 破産更生債権及びこれらに準ずる債権	16,366	△ 1,759	△ 2,734	18,125	19,100
2 危険債権	44,353	3,655	3,732	40,698	40,621
3 要管理債権	4,886	△ 1,320	△ 3,037	6,206	7,923
4 小計	65,606	576	△ 2,039	65,030	67,645
5 (合計債権残高に占める割合)	(2.09%)	(△ 0.06%)	(△ 0.16%)	(2.15%)	(2.25%)
6 正常債権	3,060,023	111,928	128,971	2,948,095	2,931,052
7 合計	3,125,629	112,503	126,932	3,013,126	2,998,697

以 上

当行は、「地域における更なる存在感の向上と収益力の強化の両立」を基本方針に定め、「中小企業取引において圧倒的競争力を有する地方銀行を目指す」ことを主要テーマとして掲げるとともに、「主要戦略① Action ~中小企業向け貸出を起点としたビジネスモデルの深化~」及び「主要戦略② Change ~競争力を拡大する新しい営業体制の構築~」への取組みを通じて、「どんな課題にも本気で向き合い、お客さまの期待をこえる銀行」となることを約束いたします。

これらの取組みの結果、当第3四半期の経営成績は、経常利益は前年同期比61億円増加の193億円、四半期純利益は前年同期比46億円増加の135億円となりました。

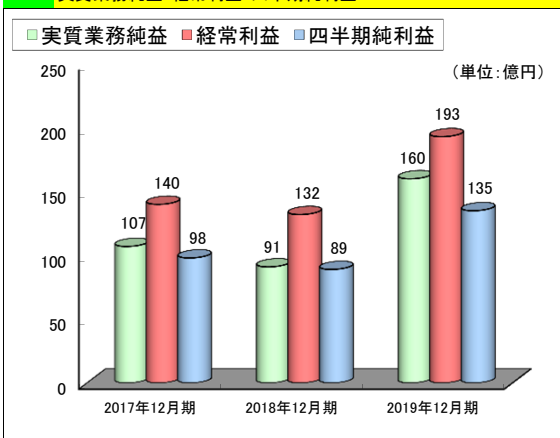
### <業績概要（単体）>

（単位：億円）

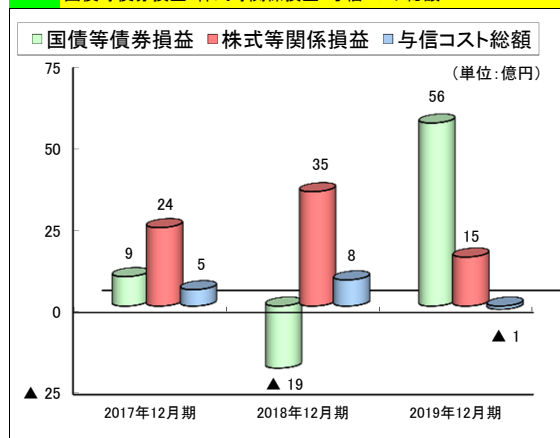
	2019年12月期	前年同期比	2018年12月期
	1 業務粗利益	416	58
2 資金利益	310	△ 27	337
3 うち貸出金利息	247	4	243
4 うち有価証券利息配当金	88	△ 17	105
5 うち投資信託解約損益	4	△ 27	31
6 うち預金等利息（△）	5	△ 1	6
7 役務取引等利益	47	4	43
8 その他業務利益	58	80	△ 22
9 うち国債等債券損益	56	75	△ 19
10 経費（△）	255	△ 12	267
11 実質業務純益（一般貸倒引当金繰入前）	160	69	91
12 うちコア業務純益	103	△ 7	110
13 うちコア業務純益（除く投資信託解約損益）	99	21	78
14 一般貸倒引当金繰入額（△）	△ 1	△ 1	—
15 業務純益	161	70	91
16 臨時損益	31	△ 10	41
17 うち不良債権処理額（△）	12	△ 4	16
18 うち貸倒引当金戻入益	—	△ 1	1
19 うち償却債権取立益	12	6	6
20 うち株式等関係損益	15	△ 20	35
21 経常利益	193	61	132
22 特別損益	△ 1	0	△ 1
23 法人税等（△）	56	15	41
24 四半期純利益	135	46	89
25 与信コスト総額（△）	△ 1	△ 9	8

### <業績推移（単体）>

実質業務純益・経常利益・四半期純利益



国債等債券損益・株式等関係損益・与信コスト総額

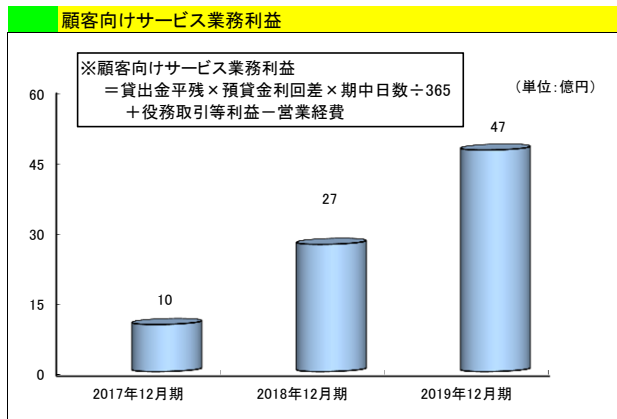


### <配当予想>

2020年3月期 普通株式 1株につき35円（期末一括）を予定しております。

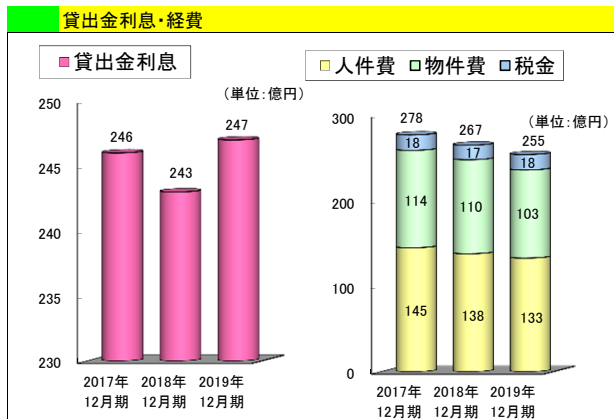
（注）本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

<顧客向けサービス業務利益>

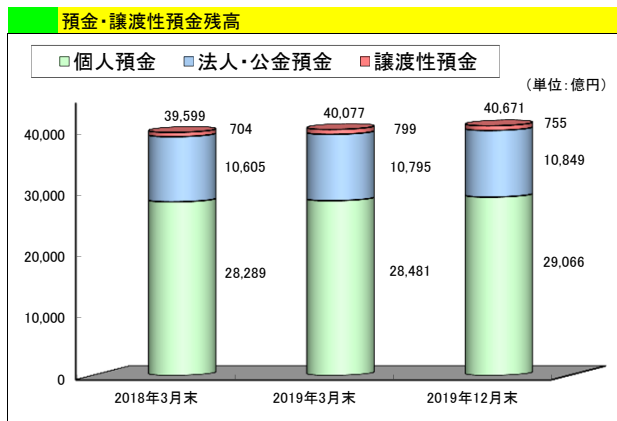


「顧客向けサービス業務利益」につきましては、貸出金利息が増加し経費が減少したことなどから、前年同期比20億円増加の47億円となりました。この「顧客向けサービス業務利益」については「銀行の本業で稼ぐ力」を示した重要な指標であると認識しており、当行は「顧客向けサービス業務利益」の増強に注力していきます。

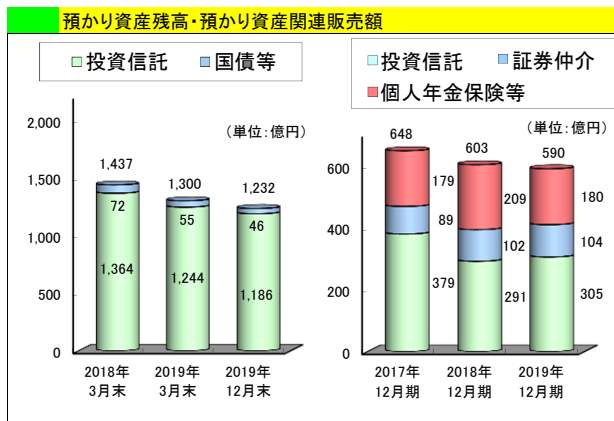
<貸出金利息・経費(単体)>



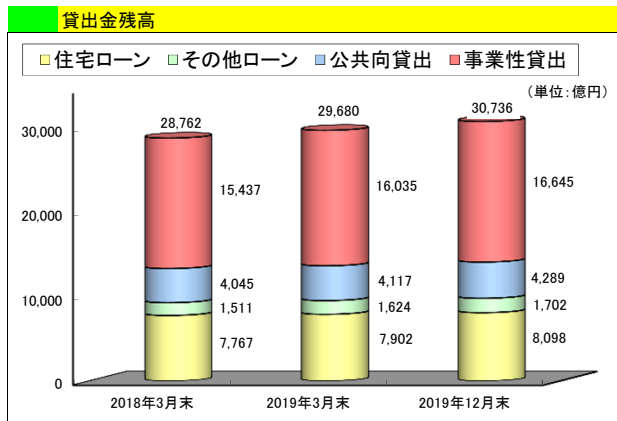
<預金等(単体)>



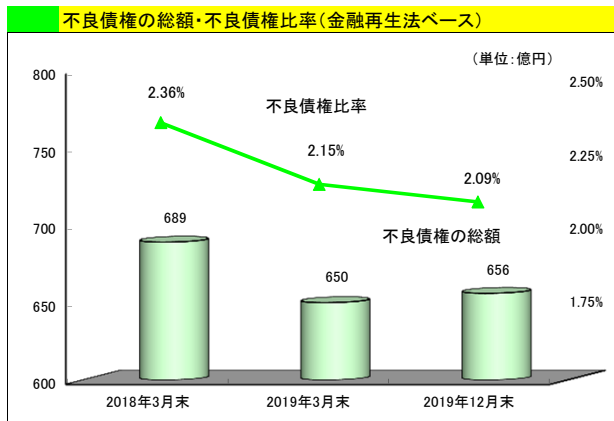
<預かり資産(単体)>



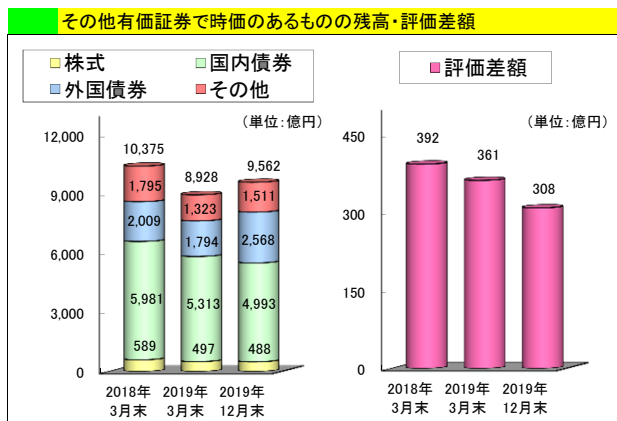
<貸出金(単体)>



<不良債権(単体)>



<有価証券(単体)>



<自己資本比率>

